

# 農業技術 プリズム

新品種「アイマサリ」は、「ニシユタカ」と比べ1個重、収量が多く、芋の肥大が早いため早掘り適性も高いです。食感に関係するでんぷん価は「ニシ

(農産園芸研究部門  
馬鈴薯研究室 坂本悠)

ています。本品種の一般栽培は19年春作から始まる予定です。

長崎県におけるバレイシヨ生産量は、北海道に次ぐ全国2位で日本全国に出荷されています。本県で栽培されている主要品種は「ニシユタカ」「デジマ」および「メークイン」で、この3品種で栽培面積の9割を占めています。しかし、いずれの品種もジャガイモシストセンチュウやジャガイモYウイルスに対する抵抗性がないため、生産現場ではこれらの病虫害による減収や品質低下が問題となっています。

県農林技術開発センターでは、これら主要品種の欠点を補う新品種「アイマサリ」(2017年9月品種登録出願公表)を開発したので、その特性を紹介いたします。

## 「アイマサリ」の特性

### 病害虫に抵抗性あり 早掘り適し食味良好

ユタカ」並みですが、食味がよく、ポテトサラタへの使用では滑らかな食感と色合いに実需者から高い評価を得ています。目が浅く皮は滑らかで外観も優れ

「アイマサリ」の特性

品種名 <sup>1)</sup>	春作マルチ栽培			秋作普通栽培			病害虫抵抗性 <sup>2)</sup>		芋の表面	
	収量 (kg/a)	1個重 (g/個)	でんぷん価 (%)	収量 (kg/a)	1個重 (g/個)	でんぷん価 (%)	PCN	PVY	目の深浅	滑らかさ
アイマサリ	406	133	11.3	354	137	9.4	抵抗性	抵抗性	浅	やや滑
ニシユタカ	379	125	10.9	268	109	9.6	感受性	感受性	やや浅	中

注1) 2010~2016年の平均値

注2) PCN: ジャガイモシストセンチュウ、PVY: ジャガイモYウイルス